

# 関係者別の成果のハイライト

分子診断を応用したトリアージ法の開発および導入による、救急部のフロー改善とリスクの低減

 <b>患者</b>	より早期の診断	SARS-CoV-2 検査結果の報告時間は、救急部（ED）がポイントオブケア分子検査室を標準手順として確立した後、15 時間（最大 44 時間）から 3 時間（最大 6 時間）に短縮されました。
 <b>臨床医</b>	信頼性の向上	「早期診断は大きな影響を与えており、医師は自らの選択に自信を持てるようになっていました。どちらも、救急患者の日常的な臨床診療に不可欠です」 - Ana Tancabel Macinkovic、救急医療専門家 調査を行った緊急専門家の 100%（n=16、回答率 100%）は、救急部の迅速分子 POC dqPCR 検査から結果を迅速に入手できるようになったため、呼吸器症状のある患者をより自信を持って管理できるようになったことを示しています。
 <b>医療制度 / 病院経営</b>	品質の改善	不要になった試薬に関して、33% の予算を削減し、月 40,000.00 ユーロ、（年 480,000.00 ユーロ）節約しました。
 <b>医療費</b>	リスクの低減	POC dqPCR を実施したとき、迅速抗原検査の 3% の偽陰性率を同定しました。POC dqPCR を使用することで、SARS-CoV-2 陽性患者と陰性患者の間の迅速かつ正確な区別が可能になり、安全性が向上し、感染拡大のリスクが低減しました。